

汐見稔幸先生講演会 地域の子育て支援と連携

福島県立医科大学別科助産学専攻（助産師養成課程）は、将来を担う子供たちと女性に寄り添い歩む助産師を育成するために、高度な知識と技術を身に付けた質の高い助産師の養成を目的として、令和5年4月に開設しました。

地域の妊産婦の多様なニーズに応え、安全・安心・快適なお産、子育てができるサポート体制の構築は、地域医療・子育て環境を整備していく面で重要であることから、本学助産師養成課程では、地域の助産師をはじめとした医療職、保育士などの子育て支援機関の皆様と課題を共有できますよう授業の一環として特別講演を開催することとしました。今後の関係機関のネットワーク強化につながることも期待しておりますので、多数の御参加をお待ちしております。

- ◆ 講演テーマのキーワード
母子関係、父子関係の形成と課題、夫婦関係と子どもの発達、家族・地域のネットワークと子ども・親の心理的な発達と適応
- ◆ 会場 福島県立医科大学 光が丘キャンパス 8号館(看護学部棟) N301
- ◆ 日時 令和5年9月22日[金] 13:00～16:10 (受付開始12:45～)
- ◆ 定員 200名 (お申込み先着順とさせていただきます)
- ◆ 参加対象 助産師などの医療職、保育士などの子育て関係職、医療・子育て支援機関の職員、保健・医療・福祉・子育て支援関係の行政職員
- ◆ その他 参加費は無料。駐車場に限りがありますので、公共交通機関での御来学をお願いします。

プログラム

- ◆ あいさつ 一般社団法人福島県助産師会 会長 小谷 寿美恵
- ◆ 『地域の子育て支援と連携 ～助産師養成課程に期待される役割～』
講師 臨床育児・保育研究会 代表 汐見 稔幸氏
- ◆ 講義総括（謝辞） 福島県立医科大学別科助産学専攻 別科長 太田 操

講師プロフィール

臨床育児・保育研究会 代表
1947年 大阪府生まれ
2018年3月まで白梅学園大学・同短期大学学長を務める。
東京大学名誉教授、日本保育学会前会長、全国保育士養成協議会 他多数
専門は教育学、教育人間学、保育学、育児学。
21世紀型の教育・保育を構想中。
保育についての自由な経験交流と学びの場である臨床育児・保育研究会を主催。（臨床育児・保育研究会HPより抜粋）



お問い合わせ先

裏面に必要事項を記入の上FAXかGoogleフォームにてお申し込みください。



教育研修支援課 看護学部教務係
〒960-1295
福島市光が丘1番地

電話：024-547-1806
FAX：024-547-1984
E-mail：kyoumu2@fmu.ac.jp

FAX送付先 福島県立医科大学 看護学部教務係 あて
 【申込締切日：令和5年9月15日(金)】



FAX

024-547-1984

QRコードから

Googleフォームから必要事項を入力してください

汐見稔幸先生講演会 地域の子育て支援と連携

所属		
連絡先	電話	
	E-mail	
参加者	役職	氏名

FAXでお申し込みの場合は、必要事項を記入し、送信してください。

会場へのアクセス

【東北自動車道】

福島西I. C. ～福島県立医科大学・・・約 6.7km

所要時間（車）／約13分

福島松川スマートI. C. ～福島県立医科大学・・・約 3.8km

所要時間（車）／約8分

【JR福島駅から】

約10km 所要時間（車）／約20分

タクシー料金3,400円程度（時間帯・道路状況により異なります）

● JR福島駅東口から 路線バスが運行されています。

■ 福島交通バス

【乗車】

東口バス乗り場 5番または6番ポールより（乗り場案内）

「伏拝・医大・美郷団地経由松川」／「医大・立子山経由飯野町」

／「医大經由二本松」／「南福島タウン・桜台経由医大」

／「清水町経由医大」

「バイパス経由医大」

【下車】

「医大病院」（約35分）・・・みらい棟前に停車

「医科大学前」（約36分）・・・5号館入口近く、市道沿い停留所停車

※運行時間は「バイパス経由医大」の場合。コースにより若干変動あり

● 平日のみ、JR金谷川駅前から本学までの路線バスも運行されています。

来場者
駐車場



お申し込み・お問い合わせ先



教育研修支援課 看護学部教務係
 〒960-1295
 福島市光が丘1番地

電話：024-547-1806
 FAX：024-547-1984
 E-mail：kyoumu2@fmu.ac.jp